

# The Facial Cutback Technique

37th International Dental Show (IDS 2017)にて  
発表した2症例

東京都 Beaux Arts (ポウザーアーツ)  
歯科技工士  
関 克哉



## はじめに

今年の3月下旬、ドイツはケルンにおいてIDS (International Dental Show) が開催された。2年に一度の世界最大のデンタルショーであり、歯科における最新の技術、製品から今後の歯科治療の潮流を知ることができる。私は今回で2度目の参加になり、自分の目で

見て最適なものを臨床に取り入れてきている。参加の意義はこれだけではなく、SNS等で知り合った世界各国の様々な方と会いコミュニケーションを深めディスカッションの場所ともなっている。次回は2019年になるが、ぜひとも参加して、その時の自分の技術

や考え方の再確認ができればと考えている。

さて、今回はこのIDSのGCブースにてレクチャー/デモを行ったFacial Cutback (フェイシャル カットバック) 法を使用した2症例を用いて解説したいと思う。



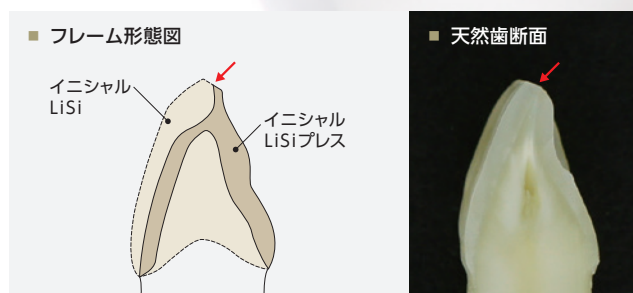
GCブース内でレクチャー/デモを同時進行で行い、多くの方々にベニアリング陶材「イニシャル LiSi」の築盛を間近で見ていただいた。(ドイツ語通訳：大川友成氏)

## Facial Cutback (フェイシャル カットバック) 法とは

フレームは舌側形態を切縁まで伸ばし唇側を少しえぐった様な形態になる(図A)。これは、メタルフレームでは実現しにくい強度と審美を両立できるフレーム形状であり、加圧成形用セラミックス「イニシャル LiSiプレス」の明るく透明感のあるインゴットにより製作が可能になる。昨年発売されたイニシャル LiSi プレスは、これまでのリチウムシリケートガラスセラミックス(ニ

ケイ酸リチウム系ガラスセラミックス)にはない強度と審美性、さらには耐酸性をも向上させた。これまでプレスセラ

ミックスは口腔内で暗くなりがちだったが、このテクニックで明るいクラウンが誰でも簡単に再現可能になっている。



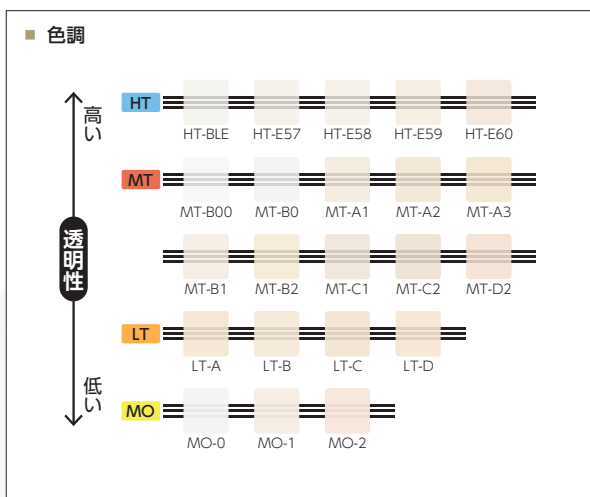
図A 切縁矢印部、フレームは舌側エナメル質の再現と考え、築盛にて象牙質と唇側エナメル質の色調および形態を回復する。

## インゴット選択

イニシャル LiSi プレスの透過性は、HT/MT/LT/MOの4種が用意されている(図B)。通常臨床ではHTがラミネートベニア、MTがインレー/アンレー/クラウン、LT/MOがレイヤリング用のフレームとして使用するものにな

っている(図C)。LT/MOは通常のフレーム形態(フルベイク等)での使用を想定した不透明な色調設定になり、このFacial Cutback法に適したインゴットとは言えない。このため通常スレイン法で使用するHT/MTを透過性

ではなく色調で使い分けしている。これはHT/MTの明るさと透過性、後述のイニシャル LiSiの明るさと遮蔽性を活用し初めて実現するテクニックではないかと考えている。



図B 基本はHTをエナメル、MTはデンチンエナメル、LTがデンチン、MOがオペーカステンチンと考え選択する。

## 色調別適応症例

		適応症例					
		ラミネートベニア	インレー	アンレー	前歯・白歯クラウン ステイニング法	前歯・白歯クラウン カットバック法	前歯・白歯クラウン レイヤリング法
色調	HT	◎	○	○			
	MT		◎	◎	◎	○	
	LT				○	◎	○
	MO					○	◎

HT High Translucent MT Medium Translucent  
LT Low Translucent MO Medium Opaque

図C MTは非常に汎用性が高く、インレー/アンレー/クラウンのステイニング法に使用できるため、この透過性を基準にインゴット選択を考えると良い。

## フルオデンチン (イニシャル LiSi) の有効性

プレスに関してイニシャルブランドではレイヤリングポーセレン(イニシャルLiSi)やステイン(イニシャルIQラスターパーペースト/イニシャルステイン)までラインナップを取り揃え、システムとし

て臨床に対応している。この中で今回のテクニックで欠かせないレイヤリングマテリアルがフルオデンチンである。フルオとは蛍光であり、簡単に言うと明るいオペーカステンチンである。基準とし

て、FD-91はブリーチ/A1/B1、FD-92がB系統、FD-93がA系統で使用する。天然歯の象牙質は特に多くの蛍光性を有しており(図D)、この再現としてFDは最適なマテリアルである(図E)。



図D 蛍光性は象牙質に多く含まれ、エナメル質には少ない。したがって、歯頸部は明るく切縁に向かって暗くなっていく。



図E FD(フルオデンチン)はイニシャルシリーズで最も多くの蛍光性を有しており、天然歯の象牙質を再現するには最適なパウダーである。

## 症例1

20代女性、主訴は前歯審美障害。象牙質に変色もなく、フェイシャルカットバック法を用いたクラウンにて2+2を補綴。



1-1 術前正面観、シールドはA2相当。



1-2 プロビショナルを参考に歯冠形態をワックスにて回復する。



1-3 図Aで示したフレーム形態にカットバックする。刃を減らしワックスの目詰まりを少なくしたラウンドバーを使用。



1-4 通法通り、ワックスアップの植立を行う。



1-5 プレス体は反応層がガラスビーズのみで容易に除去でき、無調整での適合が確認できる。



1-6 インゴットはMT-A1を選択した。舌側のフレーム形態は回復されており、最終概形もイメージしやすい。



1-7 歯頸部は非常に薄い層で色調を回復させるため、ラスタースペーストにて彩度を付与する。



1-8 蛍光性の多く付与されたFD（フルオデンチン）とIN（インサイド）を使用し、象牙質相当部を回復する。



1-9 パウダーの一次焼成。象牙質のベース色調が回復できているかを確認する。



1-10 内部トランスとしてTM (トランスモデファイヤー) と追加デンチンとしてFD (フルオデンチン) を築盛する。



1-11 エナメル質相当部にTN (トランスナチュラル)、EOP (エナメルオパール) を築盛する。



1-12 焼成し、形態修正。



1-13 口腔内セット時。  
Dr. 湯口晃弘 (ユアーズデンタルクリニック)

## 症例2

主訴は前歯審美障害。フェイシャルカットバック法を用いたクラウンにて12を補綴。時間の関係上、IDSでのデモンストレーションでは1のみを対象とした。



2-1 術前正面観、シェードはA4相当。



2-2 インゴット選択は舌側エナメル部を回復することを主目的にしているため、MT-A1を選択する。



2-3 ラスターペーストにて彩度を付与、目標シェードより濃くならないように注意する。歯頸部の赤みが強いので、ラスターペーストガムシェードも使用した。



2-4 象牙質相当部をFD、INIにて回復。内部トランスはTMを使用。表層の築盛前に必ず色調とクリアランスの確認をすることで作業の後戻りを防止できる。



2-5 イニシャルステイン、ラスターペーストを用いて白濁など細かいキャラクターを付与する。



2-6 表層のエナメル質相当部にTM、CL-F、EOPを築盛し形態修正。



2-7 口腔内セット時。Dr. 春田英政（人形町 ハルタ歯科）

## おわりに

IDSでのGCブース内レクチャーでは世界各国20名以上のデモンストレーターがイニシャルの様々な手法を紹介している。口腔内で調和する補綴装置を作るといふゴールと使用する材料は同じであっても、それまでの過程は様々な手法があることを実感した。現状がベストとは考えず、工夫しだい

で確実にゴールを目指す方法を模索していきたい。

本稿ではフェイシャルカットバック法を臨床写真をまじえて紹介した。読者の方々の日々の臨床に少しでもお役に立てればと思う。この考え方は、ジルコニアフレームでも応用でき、その場合はフレームステインで透明感の調

整が必要になる。また、これらの手法はイニシャル築盛セミナーでも今後、案内していくので興味があればそちらも参加いただければと思う。

最後にIDSで出会った全ての方々に感謝申し上げる。



**関 克哉**（せき かつや）  
東京都 Beaux Arts (ボウザーアーツ) 歯科技工士  
略歴・所属団体◎1997年 東北歯科技工専門学校卒業。1998年 国際デンタル ラボテックスクール17期卒業。2005年 Beaux Arts 開設  
東京 SJCD/スタディーグループ赤坂会/Wills

GC

# initial

## NEW PRODUCTS

[LiSi] リチウムシリケートガラスセラミックス  
Lithium Silicate glass ceramics

### 強度450MPa

リチウムシリケートに新たな提案。

歯科加圧成形用セラミックス

### ジーシー イニシャル LiSiプレス

管理医療機器 227AKBZX00075000



プレスセラミックス用急速加熱型りん酸塩系埋没材

### ジーシー LiSi プレスベスト

一般医療機器 13B1X00155000271



リチウムシリケートガラスセラミックスフレーム用ベニアリング陶材

### ジーシー イニシャル LiSi

管理医療機器 227AFBZX00124000



ベーシックセット

アドバンスドセット